

やります！

市政改革



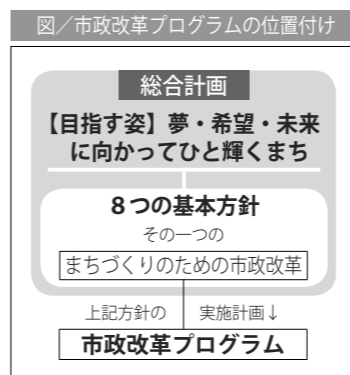
よりよい行政サービスの提供を目指す新しい「市政改革プログラム」の取り組みがスタート。市政改革に一層力を入れていきます。このページでは、取組項目の内容などをお知らせします。
図政策推進課 52-2115

■取組項目は、下記の2つに区分されます。項目ごとの内容は左のとおりです。

大区分	小区分	取組項目
市政運営の質の向上	戦略的な政策推進のための仕組みづくり	1 行政評価
	日々の業務の改善	2 業務改善 3 公共施設 4 出資法人
	職員・組織の能力向上	5 職員能力 6 組織機能
健全な財政運営の維持	歳入の確保	7 収納率 8 使用料等 9 市有財産
	適正な歳出規模の維持	10 事務事業 11 補助金等 12 職員定数

総合計画と一本化

市は、本年3月に久慈市総合計画後期基本計画（計画期間・平成23～27年度）を策定しました。後期基本計画では、計画を構成する8つの基本方針の中に「まちづくりのための市政改革」を新たに設定。まちづくりの将来像である「夢・希望・未来に向かって



ひと輝くまち」の実現に向けて、職員の意識改革を基本として市政改革に取り組むことにしています。

これにより、これまで別に策定していた「市政改革プログラム」は総合計画と一本化。新しいプログラムを基に、市全体で改革に一層力を入れていきます。

12項目 毎年点検

新しい市政改革プログラムの計画期間は平成23年度から25年度までの3年間です。市政運営の質を向上させるために必要なもの、健全な財政運営を維持するために必要なものを洗い出し、計12の取組項目をまとめました。

各項目の目標や内容は、実績や社会情勢などの変化を踏まえて毎年度点検し、プログラム自体の見直しも進めます。左は、項目の内容と平成22年度の実績です。（計画は平成23年度からですが22年度も取り組みました）取組実績は、今後も定期的にホームページや広報などでお知らせします。激動の社会情勢の中、久慈市に限らず、全国の多くの市町村が厳しい状況にあります。職員、物、お金、どれも余裕はありません。その中で、よりよい行政サービスを目指すためのものが市政改革プログラムです。今後も市の取り組みについて、皆様のご理解とご協力をお願いします。

市政改革プログラムの取組項目と22年度実績

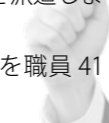
9 市有財産の有効活用

■目的・内容
 歳入を確保するため、活用されていない市の土地などの売却や貸し付けを進めます。
 ■22年度の実績
 ○土地を売却（2件・計21万円）
 ○土地・建物の貸付（1件・58万円/年）



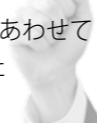
5 職員の能力向上

■目的・内容
 個々の職員の能力を最大限に発揮できる仕組みづくりを目指します。職員の派遣や研修を実施し、能力の開発と向上に努めます。
 ■22年度の実績
 ○岩手県などに職員7人を派遣しました
 ○各分野の専門的な研修を職員41人が受講しました



1 行政評価システムの最適化

■目的・内容
 業務の評価システムの活用や評価方法を工夫し、より市政の運営に役立たせることを目指します。
 ■22年度の実績
 ○施策評価と事務事業評価を実施しました
 ○市後期基本計画の策定にあわせて73の指標を設定しました



10 事務事業の見直し

■目的・内容
 事務事業の統廃合や、内容の効率化を行い、結果を反映した予算を編成します。
 ■22年度の実績
 ○11事業を見直し、202万円を削減しました（統合4件、廃止7件）



6 組織の機能強化

■目的・内容
 限られた職員数で、最大限の力を発揮できる組織づくりに努めます。
 ■22年度の実績
 組織を見直し、22年4月28日から次のとおり実施しました。
 ○総務企画部を総務部と総合政策部に分割
 ○産業開発支援担当の所管を総合政策部に変更 など



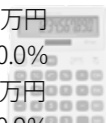
2 身近な業務の改善

■目的・内容
 日々の業務を見直し、改善し、経費の節減と行政サービスの向上を目指します。
 ■22年度の実績
 ○災害時要援護者台帳管理システムの作成など、業務を改善しました
 ○業務の改善・充実を図るため、職員提案を実施しました



11 補助金・負担金の見直し

■目的・内容
 交付、負担する基準を設けるなど、補助金・負担金の見直しを行い、全体額を抑えます。
 ■22年度の実績
 総額の実績は次のとおりです。
 ○市単独補助金 1億4,310万円
 前年度比±0.0%
 ○負担金 4,160万円
 前年度比-0.9%



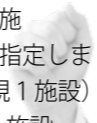
7 市税等収納率の向上

■目的・内容
 歳入を確保して市の財政を維持するために、市税などの収納強化と滞納の解消を図ります。
 ■22年度の実績
 状況に応じた徴収を実施。収納率（現年分）の実績見込みは次のとおりです。
 ○市税収納率 97.56%
 ○国民健康保険税収納率 90.11%



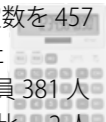
3 公共施設の管理運営の適正化

■目的・内容
 公共施設の長寿命化を図ります。経費を抑えながら、サービスを高めるため、施設の管理運営について民間との協働を進めます。
 ■22年度の実績
 ○対象施設の点検評価を実施
 ○公共施設の指定管理者を指定しました（再指定3施設、新規1施設）
 ※指定管理者指定施設…77施設



12 職員定数の見直し

■目的・内容
 市の財政を維持するために、退職者の補充を抑えながら総職員数の削減に努めます。
 ■22年度の実績
 ○久慈市職員定員適正化計画を策定
 ○条例を改正し、職員の定数を457人から385人にしました
 ※23年4月1日現在の職員381人
 前年度比-2人



8 使用料・手数料等の見直し

■目的・内容
 市の財政を維持するために、市と利用者の負担割合を見定めながら使用料などを見直します。
 ■22年度の実績
 ○見直し作業に向けて、情報収集を行いました



4 出資・関係法人の見直し

■目的・内容
 市の出資・関係法人の整理、見直しを行い、経費の節減と行政サービスの向上を図ります。
 ■22年度の実績
 ○第3セクターの経営状況など、情報を公開しました

